

フルヤブリアキン

学生寮の一年先輩で北海道出身の古屋さんという人が居た。あだ名は「ブリキ」。ニツと笑うと前歯がみんな銀色の入れ歯であった故の命名であるが、誰言うとなくブリキの入れ歯という事になり、そのままあだ名になってしまった。

気の毒のような話であるが本人は至って冷静に受け止めていた。むしろその名を楽しんでる風でもあった。また彼の歯はすごい出っ歯であったので心無い輩はブリキデッパとも呼んでいたが人権上問題があるという事で単にブリキに落ち着いた。

短気な人で我々後輩が悪さをするとすぐに「テメーコノヤロウ」と怒り出すのであるが、その時の例のブリキの歯は正に全開、キラキラと異様な迫力があつた。その上、一緒に飛んでくる大量のツバには閉口した。

そんな彼に私は後輩の立場も省みずある提案をした事がある。

当時ナポレオン・ソロというアクションスパイ映画が流行していて、主役デビットマツカラム演ずるナポレオン・ソロの名脇役としてイリヤクリアキンというのがいた。俳優の名は忘れたがこのイリヤクリアキン氏、主役のナポレオン・ソロより男前でカッコがいいので女性の間ではナポレオンよりも人気があつた。そのイリヤクリア

キンをもじってフルヤブリアキンにあだ名を変更してはどうかと、上申してみたのだ
った。

当人、最初はムツとした表情であったが、三日もすれば自分から「俺はフルヤブリア
アキンだ」と言い始めた。私のセンスを認めてくれたのかと思いきや、食堂のテレビ
で例のイリヤクリアキンを見て大いに納得しただけとの事だった。

大学を卒業して三十年以上も経て、今となっては当時の寮生で音信のある人は極端
に減ってしまったが、古屋先輩とは今もってお付き合いを頂いている。

あだ名もフルヤブリアキンは定着せず、結局は「ブリキ」のままである。